

連続公開講座 講義録

「三陸経済の復興にむけて II」

2013 年度 東京大学釜石カレッジ

国友直人・新宅純二郎 編

2013 年 10 月

1. はしがき

1.1 公開講座の開催趣旨

東京大学経済学部・東北支援プロジェクト室は東日本大震災により大きな被害を受けた釜石市など東北・三陸地域との連携を図り、同地域の復興・発展に資する東京大学が行っている事業の一環として、「三陸経済の復興にむけて」とする連続・公開講座(第一期)を2012年11月～2013年1月に計画し、実行した。その後、釜石市などの関係者からのご要望もあり、さらに2013年度の事業として「三陸経済の復興にむけてⅡ」とする連続・公開講座(第二期)を2013年7月～2013年8月にかけて開催することとした。

公開講座の内容は今後、三陸地域の経済の復興・発展に役立つと期待できるテーマを中心としたが、地元の関係者のご希望もあり第二期も3回に分けて実施した。東京大学経済学部の関係者は三陸地域に詳しくないこともあり、公開講座は話題提供者が一方的に内容を解説する形の講義・講演会というよりも、東京大学経済学部・東北支援プロジェクト室のメンバーが適切と考えた題材および話題提供者を選定する企画を立てた。公開講座の当日はできる限り双方向的な議論を活発に行い、話題についての内容を深めるとともに、地元の方々とともに今後の展開を展望する議論の場となることを目指した。各回の講座の司会は、話題提供者の紹介者を務め、司会者自身や聴衆からの素朴な疑問、質問、などをできるだけ取り上げるようにした。

この冊子は公開講座の内容には興味があるものの当日は公開講座に出席できなかった方々、あるいは釜石など三陸地域と同じような悩みを抱える地域の人々なども少なくないのではと判断し、関係者の許可を得て作成した公開講座の速記録をもとに、会場で利用したパワーポイント資料の一部などを加えるなど最小限の編集を行って作成したものである。

連続公開講座の開催にあたっては釜石市役所の正木隆司さんをはじめ職員の皆様方に様々な面でご援助をいただいた。また東京大学に所属する学生・院生諸君(新宅ゼミ所属：司馬実奈美さん・谷 雄太さん、統計学専攻院生 川久保友超さん、国友ゼミ所属：荒田直貴さん、持田ゼミ所属：浅野珠生さん・山下雄史さん)には記録係および会場設定係として協力していただいた。釜石市において東京大学公開講座を実施する上でご協力いただいたこれらの皆様方に感謝する。

なお、この講義録作成にあたり、一般財団法人 住宅生産団体連合会からご援助いただいた。この場を借りて篤く御礼を申し上げる。

2013年10月

国友直人・新宅純二郎 編

1.2 2013年度 公開講座の概略

◆第1回「水産業の現状と課題」◆

開催日時：2013年7月4日（木） 午後6時～8時，岩手県釜石市
司 会：新宅 純二郎（東京大学経済学部，経営学）
話題提供者：高井 紘一郎（元アサヒビール工場長）

（概要）

日本の漁業は、昭和59年から数年間は世界一の生産量を獲得するも、乱獲や200海里の排他的経済水域の設定により、現在ではピーク時の4割位の生産量にまで減少。これまでに至る水産業を取り巻く状況や課題に対する解決法について考察する。

◆第2回「住宅産業と三陸地域」◆

開催日時：2013年7月29日（月） 午後6時～8時，岩手県釜石市
司 会：国友 直人（東京大学経済学部，統計学）
話題提供者：佐々木 宏（住宅生産団体連合会・専務理事）
能勢 秀樹（住宅生産団体連合会，住友林業）

（概要）

日本の住宅産業の最近の動向を鳥瞰し、特に住宅産業と林業の今後の関係などについて議論する。さらに三陸地域の特性を生かす形での今後の住宅のあり方について考察する。

◆第3回「震災復興と三陸経済 ～阪神・淡路大震災からの教訓を踏まえて～」◆

催 日 時：2013年8月22日（木） 午後6時～8時，岩手県釜石市
司 会：持田 信樹（東京大学経済学部，財政学）
話題提供者：林 宜嗣（関西学院大学経済学部，財政学）

（概要）

阪神・淡路大震災復興の教訓、人口減から見た地域経済の将来、地域再生と公民パートナーシップなどについて建設的な議論を提供する。

目次

はしがき

第1回「水産業の現状と課題」講義録	7
第2回「住宅産業と三陸地域」講義録	35
第3回「震災復興と三陸経済 ～阪神・淡路大震災からの教訓を踏まえて～」講義録	71
編集後記	103